

令和5年度 青森県学習状況調査の結果について

1 調査の概要

- (1) 目的 各教科の学習の定着状況を把握し、課題を明らかにするとともに、学習指導の改善や本県児童生徒の学力向上に資する
- (2) 実施日 令和5年8月30日(水)
- (3) 対象 小学校第5学年児童 中学校第2学年生徒
- (4) 実施教科 小学校 国語・社会・算数・理科 中学校 国語・社会・数学・理科・英語
- (5) 調査内容 基礎的・基本的な知識・技能を問う問題
 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題

2 調査結果

【小学校】

(通過率…%)

	国語	社会	算数	理科	総合
青森市	67	66	61	66	65
青森県	64	63	58	62	62
本市と県の差	+3	+3	+3	+4	+3

【中学校】

(通過率…%)

	国語	社会	数学	理科	英語	総合
青森市	59	49	46	47	54	51
青森県	58	46	42	44	50	48
本市と県の差	+1	+3	+4	+3	+4	+3

(通過率：正答総数を問題総数で除した割合)

3 本市児童生徒の学力の状況

- (1) 小・中学校とも、全ての教科で、通過率は県の平均を1～4ポイント上回っている。
- (2) 本市と県の差は、小・中学校とも総合で、3ポイント上回っている。
- (3) 学力の傾向
- ①正答率が高い問題…基礎的な知識及び技能を問う問題
 - ②正答率が低い問題…知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題

4 学力向上の要因と今後の取組

- (1) 調査結果に基づき9年間を見据えた系統的な指導の在り方
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業づくり
- (3) 1単位時間や単元、内容のまとまりごとなど、適切な場面で評価し、指導に生かすこと
- (4) 習熟の程度や学習履歴に基づいた補充・発展的な学習の充実
- (5) 小学校での教科担任制の積極的な導入により、授業の質の向上が図られたこと
- (6) 複数担任制の導入により複数の教師が関わることで、多面的な児童生徒理解が図られたこと
- (7) 中学校・英語については、小・中学校の人事交流により中学校の英語教員が小学校での指導を行っていること